

## 秋の火災予防運動

11月9日(金)の「119番の日」～15日(木)の1週間、「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」を合言葉に、全国一斉に秋の火災予防運動を実施します。

期間中、消防機関では、住宅防火訪問を実施するほか、婦人防火クラブ員の店舗啓発活動や幼年消防クラブ員の法被通園を行い、広く火災予防を呼びかけます。

火災予防は、一人一人の日頃の心掛けが大切です。外出前や就寝前には、火の元を点検し、家の周りには燃えやすい物を置かないようにし、火災のない安全で安心して暮らせるまちづくりに協力してください。

☎ 予防課 ☎ 76・2166

## 住宅用火災警報器設置・維持管理を

住宅用火災警報器は、煙や熱を感じ、警報音などにより火災を知らせるもので、全ての住宅に設置が義務付けられています。未設置の住宅は、すぐに設置してください。

同警報器は設置から10年経過すると内蔵電池が切れる恐れが高まります。定期的に点検をし、適切な維持管理をしてください。

### <維持管理のポイント>

①点検スイッチによる作動確認(月1回程度)

<正常な場合>



ボタンを押すか、ひもを引くと正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

②感知器の清掃(年1回程度)

### あやせ消防フェスティバル

あやせ消防フェスティバルを開催します。式典、幼年消防クラブ員の防火演技・婦人防火クラブ員の消防音頭に合わせた踊りなどを披露するほか、11時15分からは屋外で幼年消防クラブ員と消防車による綱引きや煙体験などを実施します。

時 11月12日(月)10時から 場 オース文化会館 綾瀬市少年婦人防火委員会、市



あやせのものづくりを支える  
多様な人材から  
ものづくり再発見



個性を生かし、  
一人前の職人へ

うすい君(20歳)は(株)栄和産業で働く、知的障がい(B1)を持つ若手職人だ。養護学校卒業後、車好きが高じてバス・建機などの大型部品を手がける同社に就職。

小柄な体で巨大な鉄板を担ぎ、社内で一番大きな曲げ機を扱う姿は、一人前の職人だ。趣味は野球と車。車で1時間かけて通勤し、仕事では大好きな自動車産業の一翼を担う。「ものづくりには体力がいるが、自分の手がけたものが形になる面白さがある。優しい仲間と、明るく前向きな社風が、今日の頑張る原動力です」と力強く語る。新しいことに挑戦し、できるようになることにやりがいを感じ、「職人の勘を培って、より難しい技術に挑戦したい」と意気込む姿は頼もしい。小柄な体に、大きなチャレンジ精神を秘めた、うすい君。

ものづくりへの挑戦は、これからだ。

☎ 工業振興企業誘致課 ☎ 70・5661

## タイムスリップ

# 市制施行40周年

市が誕生して今年で40年が経過しました。町から市になるためには、人口5万人以上などの条件があり、市では40年前に「綾瀬町を綾瀬市とすることについての申請書」を県知事に提出しています。

この申請書には、新市名と市名選定の理由、市制施行の希望年月日などが書かれています。

当時実施したアンケート調査や懇談会では、市制施行はおおむね賛成でした。市制施行により公共施設の

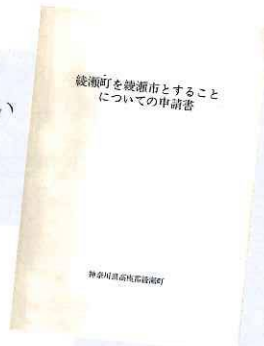
充実を望む声が多く寄せられました。

☎ 生涯学習課 ☎ 70・5637

- 1 新市名 綾瀬市
- 2 市名選定の理由

この地域には、豊明、北見町、日ノ出町の3つの町村があり、その友好を会合すると数段の小川となり、浦の磯をなしているようであるので「綾瀬」と名づけられたといわれている。明治22年4月1日、常盤村、川原村、日ノ出町が合併し、綾瀬村と結した。昭和22年4月1日の市制施行時に旧市名の名称は、そのまま「綾瀬」を引継ぎ綾瀬町とすることになった。このように「綾瀬」の名称は、古くから愛され親しまれており、また歴史的にも重要なものであるため、新市名を「綾瀬市」と定めたものである。

綾瀬町を綾瀬市とすること  
についての申請書



綾瀬町を綾瀬市  
とすることにつ  
いての申請書